

コープくらしのたすけあいの会「本部のつどい」開催報告

1. 日 時 2012年4月11日(水) 10:30~13:30
2. 場 所 生活協同組合コープあおもり本部集会室
3. 出 席 27名
4. 当日プログラム

司会：笹森敦子副会長

10:30~	開会挨拶 コープくらしのたすけあいの会 内田弘志会長
10:35~11:00	2011年度まとめと2012年度計画について 県生協連 事務局西田
11:00~12:00	学習講演：「介護保険制度改正にあたって 4月からどうなるの」 講 師：弘前第一地域包括支援センター所長 斉藤優子さん
12:00~12:40	昼食休憩
12:40~13:20	グループ交流「講演を聞いて・会員を増やすにはどうすればいいか」
13:20~13:35	グループ発表（1グループ3分）
13:35~13:45	閉会挨拶 コープくらしのたすけあいの会 内田弘志会長

- ・4月11日(水)、コープあおもり本部集会室において「コープくらしのたすけあいの会2012年度本部のつどい」を開催しました。青森地域、八戸・三沢地域、むつ・下北地域、弘前・黒石地域のたすけあいの会のコーディネーターや幹事を合わせて27名が参加しました。
- ・内田会長の挨拶に続き、たすけあい全体事務局より「コープくらしのたすけあいの会活動の2011年度のまとめと2012年度計画」について報告・提案がありました。2012年度は会員目標を600名とする・活動時間目標を5,500時間以上とする・宣伝活動を強化する・地域の協同を強化する等の方針が確認されました。
- ・斉藤さんは、『今回の介護保険制度改定では「医療・介護・予防・住まい・生活支援」を切れ目なく提供させる「地域包括ケア」が重視され、地域在宅を24時間365日体制で進める方針で打ち出されているが、実際には「効率化・重点化」のもとに介護サービスの削減と負担増が強いられる』ことになることを強調しました。さらに、今年4月からの具体的な改正（改悪）内容を解説しつつ、今後はたすけあいの需要（出番）が増えてくるのではないかと予想していること、更に、介護保険料値上げや消費税増税は「決して仕方がないことでは無く」、地方自治体の「介護給付費基金」や「青森県財政安定化基金」などの活用（取り崩し）で十分抑制が可能であるとお話されました。
- ・講演後、5グループに分かれてグループ交流を行いました。「講演を聞いての感想とたすけあいの会の会員を拡大するにはどうしたらよいか」をテーマに話し合いました。

<感想から（抜粋）>

- ・大変参考になった。特養が減らされていることや有料老人ホームの実態を聞いてビックリ。年若いでも社会の動きにしっかり目を向けていかなければと再確認しました。
- ・お話を聞いて老後に不安を感じました。
- ・地域の一員として近隣とのコミュニケーションを大事にしたり、関心を持つことが大事です。
- ・会員を増やすには口コミが大事。動くことが大事。
- ・まず、足元（各生協の役職員）から参加を増やすことから始めよう！

